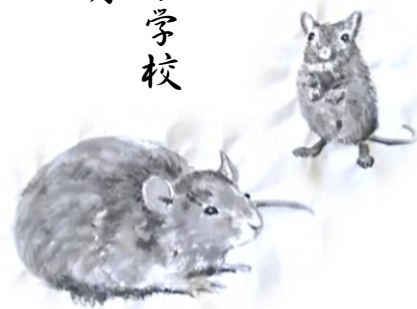




福井市安居小学校
令和二年一月

謹賀新年



本年もよろしくお祝い申し上げます

2020年の穏やかな年明け、皆様いかがおすごしですか。

今年度も、保護者や地域の皆様の授業参観、体育大会等の学校行事や各学年の発表会等への多くの参加を得て、児童の意欲を高めていただいておりますこと、本当にありがとうございます。家庭や地域との連携を図る中、保護者の皆様、地域の皆様の学校へのお声かけが、学校の元気を増すことにつながっております。今後ともどうぞよろしくお祝い申し上げます。

さて、1月になり、各学年とも締めくくりの段階に入ります。子供たちがこの節目に、新しい年の夢を描いたり目標を立てたりすることは、これからの成長に重要な役割を果たします。

6年生はあとわずかです。残された小学校生活の締めくくり方が重要です。締めくくりがよければ、新たな進路先での活動も充実したものになります。5年生は6年生に代わって最高学年としてのはたらきが求められます。安居小学校の顔としての気概をもつとともに学校をリードする力をつけていかなければなりません。

どの学年も、今年度、いくつもの階段を経て、1学年上への進級に備えた時期を迎えます。安居小学校の一人一人が、学年のみんなと心を合わせて、学習や生活のまとめを仕上げたいと思います。

新しい年、各家庭で夢や希望についての会話を心掛けてみてください。目的意識を高くもった子供ほど確かな成長をします。子供の成長は何気ない日ごろの努力の積み重ねによって成し遂げられるのです。

本年も、どうぞよろしくお祝い申し上げます。

12/18 わくわく交流会

4年生が公民館で高齢者の方々と交流しました。劇やクイズ、ゲーム等、入念な準備を経て、当日は楽しいふれ合いの時間をもつことができました。



このような行事は、先日の「認知症サポーター養成講座」と合わせて、高齢化の進む安居地区には欠かせないものとなってきましたね。

今年はねずみ年なので、朝礼でハンカチを使ってネズミを作りました。昔、小学生の頃に、作って遊んだ事を思い出し、実際に作って動かして見せたのですが、“ややうけ”といった感じでした。

1月22日(水)に1年生が昔遊びの体験をします。ご協力いただける皆様、ありがとうございます。よろしくお願いいたします。



毎日の「旗持ち当番」ありがとうございます。おかげさまで、子供たちは、安全に、元気に登校しています。

これからますます寒くなりますので、保護者の皆さまの健康管理にも十分にご留意いただき、これからもよろしくお祝いいたします。

箱根駅伝

お正月の恒例行事になっている箱根駅伝。

以前から「生で見たい。」という強い思いがあって、今年ついに現地に行って選手たちの熱い息づかいを目の当たりにすることができました。

毎年、様々なドラマが繰り広げられることがテレビなどで放送されますが、実際、自分の目で確かめ、必死に走る選手に直接声をかけることができ、見ていただけでも大感動でした。

1月2日。往路の見所は何といっても5区の出発地。箱根湯本駅までJRで行き、そこから、例年だと箱根登山電車なのですが、昨年の台風19号の影響により、箱根登山電車の箱根湯本駅～強羅駅は長期運休しています。こんな所にも自然災害の影響が及んでいます。近年の自然災害は予測できないことが多く、危機管理の重要性を改めて感じさせられます。運休期間中は、箱根登山バスへの振替輸送と代行バスを運行しています。ぎゅうぎゅう詰めバスで箱根路をゴール芦ノ湖に向かって登ります。途中に見える景色には所々崖崩れの跡があり、まだ復旧の及ばない所もあるようでした。

応援場所は、5区のほぼ中間地点「宮ノ下」という所です。上り坂の途中の商店街でこの後もきびしい坂が続きます。私はこの近くに応援の場所を陣取りました。(商店街の中心はもう観客でぎっしりでした。)そして、新聞社の応援旗と近くのパン屋さんが配ってくれる「シチューパン」を手にとり、応援体勢を整えました。(といっても、選手通過までまだ1時間以上ありますが…)

12時過ぎ。先頭を走る大会先導車よりずいぶん前に、警察車両が安全確認のために通過していきます。気がつくと、ここは中心地から離れている場所なのに隙間無く人が並び、その前には大会関係者が等間隔に配置されています。この大会では、大会関係者3000人、学生ボランティア3000人が動員されているそうです。「応援お願いします。」の車からの声にボルテージは上がり、下の方では、観光協会の係の方のかけ声で応援練習が始まりました。それから、先頭の青学の選手が見えるまで結構な時間がありましたが、坂の下からの声援の膨らみが、選手の登場を予測させ盛り上がってきます。宮の下交差点を曲がって選手の姿が見えると、周りの応援は一気に最高潮に。

テレビの映像では、選手の力強い走りが映し出され、その華やかな経歴が紹介されています。目の前を通る選手も、どんなにすごいのだろうと期待を大きく膨らませて下をのぞき込んでいると、あっという間に中継車両が通り過ぎ、その後を、思っていたものとは違っても細いシルエットの選手が喘ぎながら必死の形相で近づいてきました。私は思わず、「大丈夫、大丈夫、いけるいける、手を振って！」と声をかけました。それも、周りにいた他の誰よりも大きな叫び声で。(一緒に行った家族には、「どこの学校の監督かと思った。」と言われるほどの声だったようです。)

その後20人、どの選手を見ても、テレビで見るとは違って、苦しさに必死で立ち向かう1人の人間のひ弱さの方がクローズアップされ、応援せずにいられない状況が続きました。

それもそのはず、この場所は、選手が商店街の応援につられてギアを上げた後の疲れがどっと出てくるつらい場所で、この後も人気の少ない坂がまだまだ続くのです。選手が苦しそうな顔をするのも当たり前。ひっくり返せば、選手が坂と戦う苦しい本当の表情が見られる場所でもあるのです。私の選手に向けられた叫び声は最後尾の大会運営車が来るまで続きました。気づくと、酷使した喉が悲鳴を上げるほど声がガラガラになってしまいました。

箱根駅伝は大学生の襷をつなごうとする揺るぎない結束力が発揮されるすばらしいものです。実際に現地に行って目にすることによって、その裏には苦しさにもがく1人の人間としての弱い姿もあることを知りましたし、力を合わせることで、同じ方向に向かって努力する姿も見せてもらいました。また、テレビでは見えない、自然や人の力の素晴らしさにも触れることができ、大感激の2日間でした。

安居小学校の子供たちも、自分の目標に向かって努力し、友達と力を合わせながら進んでいく素晴らしさを学んでほしいと強く思います。

<11:30 現在 「宮ノ下」 掲示板>



「学校評価」ありがとうございました。

先日の学校教育に関する保護者アンケートありがとうございました。結果については、後日報告いたします。同時に児童や教職員も学校評価を行っており、その結果を踏まえて今年度の考察を行い来年度に向けた計画を立てていきます。学校では今年度できること、しなければいけないことについては、今年度中にすぐに取り組んでいきます。

同時に、学校では、令和元年末に、全教員で現状を語り合い、年始からの取組について数名の委員が対策案を考えました。令和2年始に、委員の試案検討を経て全教員による対策行動が決められました。その具体的な取組内容については、後日文書にてお知らせします。

現在、その取組を確認するために、1/8から毎日、当日の様子を全員で共有する「打ち合わせの時間」を特設しています。また、今後、年間計画に従って1月中に「児童理解週間」(担任と1人1人との面談)を行い、それを受けて、全学年で自学級をよくするための学活(話し合い)の時間を1月終わりに設定します。この話し合いを教職員・児童が共有することで、学校全体でさらに学校生活を向上していこうと考えおり、来年度につなげていきたいと思っています。

今後、授業の参観等についても、ご案内させていただきますので、ご家庭におかれましても、お子様と話す時間をできるだけ多くもっていただき、励ましていただけますようよろしくお願いいたします。

